

第44回福岡県女子剣道選手権大会 第65回全日本女子剣道選手権大会県予選会

についてお知らせ致します。

参加ご希望の方は実施要項をご確認の上、期日までのお申し込み願います。

1. 期日
令和8年6月20日(土)
受付時間 午前 8時30分～9時00分 (厳守)
開会式 午前10時
2. 会場
福岡武道館
〒812-0045 福岡市博多区東公園8番3号 Tel 092-712-1890
3. 申込方法
早良区剣連で一括して県連に申し込みます。
4. 早良区締切 **令和8年5月14日(木)締切厳守**
(別紙の県連締切とは異なるの間違えないでください)
5. 早良区申込先 下記、メールに申し込んでください。
早良区剣道連盟メール：sawara.kenren@gmail.com
6. 申込要件
 - ①別紙申込用紙に、氏名、職業、年齢、生年月日、段位、連絡先を明記してください。
 - ②参加者1名につき2500円(参加料:2000円+手数料:500円)を下記口座に振り込んで下さい。
7. 払込先
ゆうちょ銀行 01700-1-153429
福岡市早良区剣道連盟 (フクオカシサワラクケンドウレンメイ)
※ 他金融機関から振込まれる際は次の内容をご指定ください。
【店名】一七九 (イチナナキュウ)
【店番】179 【預金種目】当座 【口座番号】0153429
8. 問合せ先 [電子メール sawara.kenren@gmail.com](mailto:sawara.kenren@gmail.com)
9. 実施要項 次ページ以降参照のこと

第44回福岡県女子剣道選手権大会
第65回全日本女子剣道選手権大会県予選会
実施要項(HP用)

1. 日 時 令和8年6月20日(土)
受付時間 午前8時30分～9時00分(厳守)
開会式 午前10時
2. 会 場 福岡武道館
〒812-0045 福岡市博多区東公園8番3号 Tel 092-712-1890
3. 大会内容
(1) 出場資格
① 年齢18歳以上とし、段位の制限はしない。
(年齢計算は、令和9年4月1日を基準とし、平成21年4月1日以前に生まれた者)
② 五段以上は本連盟の登録会員であること。四段以下は地域剣道連盟に所属していること。
③ 全日本女子剣道選手権大会予選会への出場は、一都道府県大会のみとすること。
他都道府県の予選会に出場するなど違反した者は、出場を取り消します。
(2) 令和8年11月3日(火・祝日)実施予定の全日本女子剣道選手権大会出場者は、上位2名とする。
4. 注意事項
(1) 使用する竹刀は、全剣連の「竹刀の基準」を遵守すること。
(2) **※大会当日、竹刀の計量、測定を実施いたします。**(場所は、2Fエントランス)
選手は、大会当日に竹刀計量で「剣道用具確認書」を提出すること。
(3) 紅白目印(長さ70cm・幅5cm)を持参すること。
(4) 竹刀計量・検査時間を遵守すること(9:30終了予定)
5. 参加料 出場者1名につき2,000円
※申込後(入金後)の参加料は返金いたしません。
6. 申込方法 所定の申込書により選手の皆様は各地域剣道連盟に申し込みください。
各地域剣連事務局長は、一括して参加料とともに福岡県剣道連盟に申し込み下さい。**E-mail : jigyol890@fukuoka-kendo.com**
注：職業欄には、企業名、**高校名、大学名**、警察官、刑務官等と明記のこと。
(振込先) 選手各人は所定の地域剣連にお振込みください。地域によっては持参等も可能。
7. 申込締切 **令和8年5月22日(金) 必着**
8. 申込先 地域剣連の事務局長をとおして福岡剣道連盟に申し込むこととなります。
〒810-0052 福岡市博多区東公園8番3号 福岡武道館内
(公社)福岡県剣道連盟 事務局 担当 山田

事務局から福岡県剣道連盟への申込は、必ず下記メールにデータを添付ください。お願いします

E-mail : jigyo1890@fukuoka-kendo.com

9. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合はトーナメント方式により、優勝・準優勝・第3位・第4位を決定する。
- (3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行ない、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。

10. 剣道用具の取り扱いについて

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。
 - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2および図のとおりとする。
 - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (2) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (3) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ぶとんは、安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (4) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

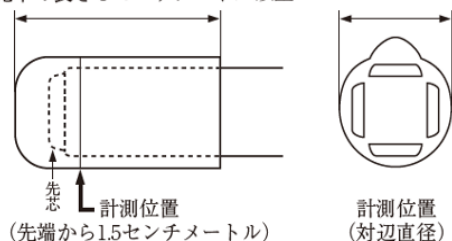
長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

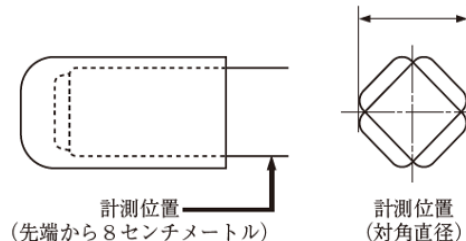
	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	250~280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



11. 表彰

優勝者には優勝杯と賞状を授与し、準優勝については賞状及びトロフィーを授与する。
 なお、3位と4位については賞状を授与する。

12. 安全対策

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。

また、出場選手は健康保険証を持参のこと。

主催者において、大会実施中傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は自己負担とする。

なお、主催者は、大会中の選手の事故に対し、傷害保険に加入する。**対人稽古に関する感染予防ガイドラインにかかわらず、面マスクの着用は個人の判断に委ねる。ただし、面マスクを着用しない場合は、口の部分を覆うシールドを着用すること。**

13. 個人情報保護法への対応

※以下を申込者に周知してください。

参加者の個人情報（漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は福岡県剣道連盟および地域剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせた公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣脈等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

以上

6月20日（土）第44回福岡県女子剣道選手権、第65回全日本女
選手申込

氏名	氏名（よみがな）	所属地域剣連名

子剣道選手権大会県予選会

職業	段位	予選会当日連絡がとれる携帯番号

※企業名、学校名、警察官、刑務官等

※企業名は短縮形があればお願いします。

審判主任	検査所責任者

剣道用具確認証

大会会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日 付： 年 月 日

剣道連盟

選手氏名： _____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 _____ 本（大会検査所提出本数）→合格 _____ 本

竹刀の長さ（全長）が適正

竹刀の重さが適正

竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正

先から8センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正

先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなっている

先革の長さが適正

中結の位置（＝全長の約1/4）が適正

各ピース（竹）の間の隙間がない

破損・ささくれはない

不当な付属品を使用していない

安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の1/2以上を保護している

小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内である

小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている

面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上